

就職活動や定着支援、就労上のモチベーション

当日資料 4

A型から一般就労することへの難しさ

- 合同説明会の情報など就職活動に関する情報がA型事業所から得られなかった。
 - A型では利用者の目標に向けた支援がなされていないように感じた。
- 初めての障がい者雇用の企業ではどのような配慮や体制を整えたら良いかわからないように見える。

- A型事業所からも合同説明会の情報がほしい。
- 慣れない企業への環境整備、合理的配慮などのノウハウ支援を行ってほしい。

□ 困り事

1. 通所先のスタッフとの相性が悪い時、困る。
2. 入社前の合理的配慮事項のすり合わせがないため、本人・企業ともに不安。
3. 企業側に障がい者雇用のノウハウがない。
4. 会社の中で障がい者は同性が少ない。話せる人がいないのでさみしい。
5. 会社の悩みは、親に話すと怒られるので悩んでいる。
6. 仕事で困った時の相談先に困っている。

職場に話ができる人がいない

- 今の職場では数名の障がい者がいるが、同性は自分ひとりで話せる人が少ない。
- 今の職場では病院に行っても上司からは自分から話をしないかいることも言いつらい。
- 上司からは自分から話をしないから良くないだと注意を受けた。
- 就ボツの担当者が変わり、新しい方に、話し相手がいらないとはまだ言っていない。

- 職場で話せる仲間がほしい。

自分で稼いだお金でお年玉をあげたい

- 父親が40年前に亡くなり、母も高齢で施設へ。
- きょうだいも正月に会いに来るので、一緒にホテルで蟹を食べに行く。
- 甥っ子や姪っ子にお年玉をあげたいので、頑張って仕事を稼いでいる。

□ 要望

1. A型事業所からも合同説明会の情報がほしい。
2. 慣れない企業への環境整備、合理的配慮などのノウハウ支援を行ってほしい。
3. 職場で話せる仲間がほしい。

障がいのある人が地域で生活していくために

親なき後、どう生活していけばいい？

- ヘルパーさんなどの人材不足。50代のヘルパーばかりで若いヘルパーさんがいない。今後大丈夫か不安になる。
- ショート利用すればいいと言われても簡単ではない。送迎は親だとなんのためのショート？って思う。
- 家族で支えていても、1年に1回は「もう無理」と思って入所施設を見に行くが、預ける場所がない。
- 高齢の親がいなくなった後の介助は誰がするんだろう。

- ヘルパーと利用したい人とのマッチング
- 職員募集などにマッチングの仕組み

□ 困り事

1. 障がいのある人の自立した生活はどうしていったらいいの？
2. 障がい理解が不足していると感じる。
3. 自分が居なくても持続可能な生活をしたいが、人手不足が深刻。
4. 施設の数とクオリティが足りていない。
5. 小学校と中学校のカベがある。

地域の支援力を上げていかなければ

- 警察沙汰になったとき、警察官:「この子よる見るわ」被害者:「この道通らんとってほしい」→これこそ「地域で支える」ではないのか？もっと理解してほしい。
- 外国人ヘルパーさん来てもらっても、持続性は大丈夫？
- 好きなことを伸ばせる場がほしい。
- 入所施設でもお断りしなければならぬ状況。量が確保できないなら質でカバーする努力をしている。離職者を減らしたい。

- 入所施設をオープンにして知ってもらいたい。連携していきたい。
- ケーブルTVで施設を紹介(J-Com)
- 事業所でお祭りをしては
- 障がいがあっても利用できる場所リストの作成



教育

- 小学校と中学校で支援力に差がある。
- インクルーシブ。本人も周りも育つ。
- 学校でも“人”の課題、力量の差があるように感じる。
- 学校の選択はフラットであってほしい。地域の学校と支援学校では壁があると思う。

- 学校らびについて先輩ママの勉強会や対談会を実施。

□ 要望

1. 地域の支援力をアップして地域で支えられるようになってほしい。
2. 好きなことを伸ばす場所(水泳とか)が増えてほしい。
3. まちの人にASDってなに？てんかんで何？を知ってほしい。

親の不安(安心安全が欲しい)・親の理解(情報)不足・地域の資源不足

学校での支援・社会に出るためのスキル

- 低学年は手厚いが高学年になると急に減ってくるように感じ不安。
- 本人が困ってなければいいのか？周りに迷惑をかけない、配慮するスキルも必要。
- 芦屋のインクルーシブって何？
- 社会に出るには本人が発信できるスキルも必要。
- インクルーシブ。本人も周りも育つ。
- 学校でも“人”の課題、力量の差があるように感じる。
- 小学校と中学校で支援力に差を感じている。
- 学校での選択はフラットであってほしい。地域の学校と支援学校では壁があると思う。

居場所

- 学童がなくなったあと(中学校以上)、就労終わった後(18歳以上)になると居場所がなくなる。
- 母が正職で働き続けられるサポートがない。
- 放デイの支給量が少ない。
- グループホームが少ない。
- 地域にあって活用されていない。
- 災害時にも安心して預かってもらえる場所が欲しい。

つながり

- サッカー部に所属。自分にもたくさん出場機会を与えてくれた。健常者と同じように接してくれたことが良かった。
- つながっていればいいと思う。仲間内で分かってもらえるのがいい。

- 学校の思いと保護者の思いの違い・ずれ違い。教育の仕組みを先生から保護者に伝える機会はどうに設けられているのか。
- 仲間や先輩パパママとマッチングできる仕組み。あしやねっとの活用。

□ 困り事

1. 地域に利用できそうな居場所があっても活用できていない。
2. 障がいのある人と一般の人が話せる、過ごせる場がない。
3. 昔と違って働く母が増えている。放デイ支給量や社会資源のあり方を考え直してほしい。
4. 教育の仕組みを先生から母に伝わりきれていない。
5. 支援の考え方について学校側の思いと母の思いが違っている。
6. 社会に出るためのスキルを学ぶ場がない。

□ 要望

1. 中学生でも利用できる学童を作ってほしい。
2. 受給者証がなくても利用できる居場所がほしい。
3. 社会に出るためのソーシャルスキルを学ぶ場がほしい。

グループ1

障がい者にとっての『やさしいまち』を知る・学ぶ

居場所が欲しい

- つむぐ広場のような居場所がほしい。
- 市内に通所施設が少ない。
- 放デイサービスの支給量が少ないので、放課後に行く場がない。
- 市内に成人の通える事業所が少ない。

『繋がる』ための情報が欲しい

- 婚活情報が欲しい
- “つながり”の輪を増やしたい。

ニーズ・要望

- “つながりの輪”が増えるような情報がほしい。
- つむぐ広場のような居場所がほしい。
- 近く(市内)の事業所に通いたい。

現在の仕組みやルールに関する正しい情報が欲しい

- インクルーシブ教育っているの？
- どうして芦屋市の放デイ支給決定日数は他市より少ないの？
- 成人が通える他市の事業所情報もあれば良いのに。

『知る』『学ぶ』場があれば解決するかも

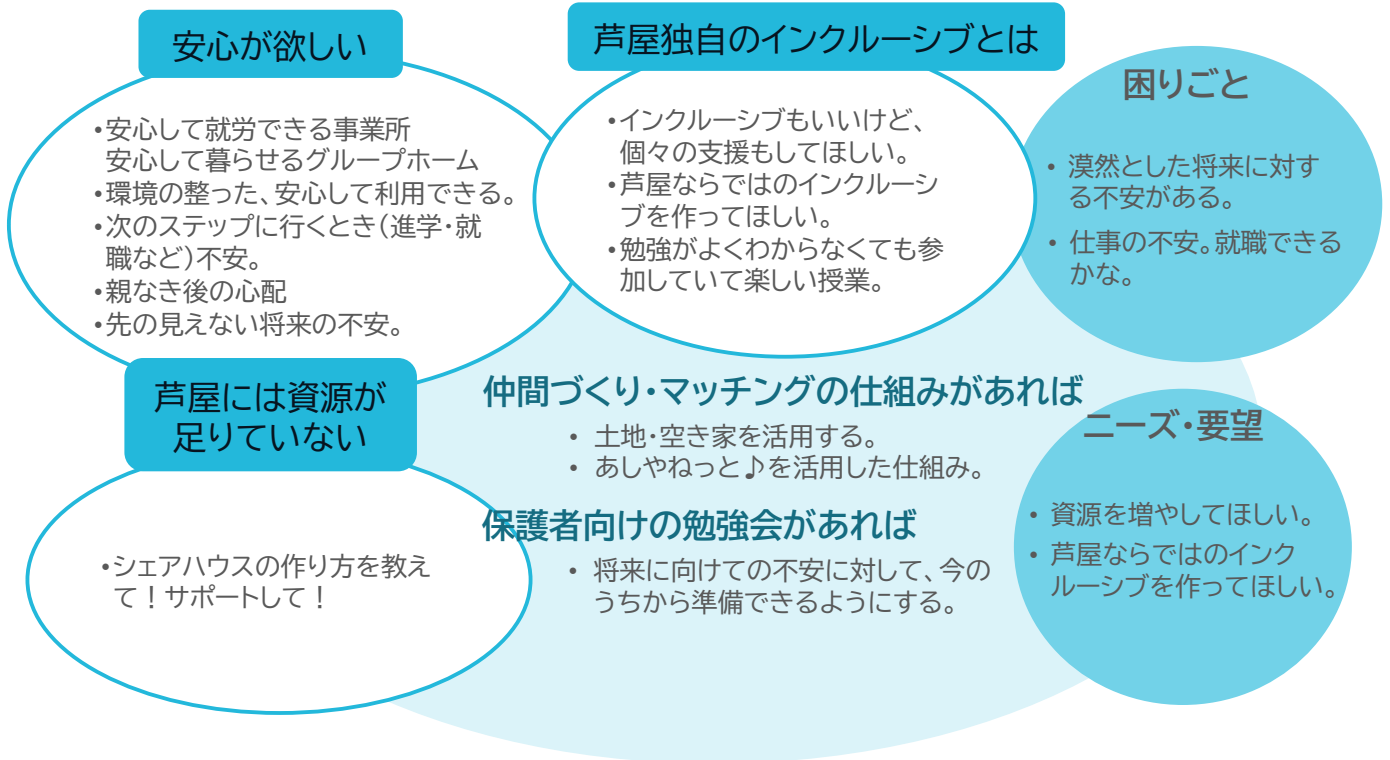
- ★ まるっと説明会など情報提供の場のブラッシュアップができればよいのかも。
- ★ “なぜこのような仕組みになっているのか”を知ってもらいたいのかも。
- ★ 相談支援や支給日数の決定についての仕組みを当事者や家族にもっと知ってもらう機会があれば良いのかも。
- ★ 当事者ニーズをもっと理解できるように、相談員がブラッシュアップ(スキルを高める)ことができればいいのかも。

困りごと

- 施設(通所先)が少ない。
- 放課後等デイサービスの支給量が少ない。

グループ2

不安・心配を払拭したい。知ることによって不安がなくなるかも



グループ3

幼稚園から18歳、概ね20代までの進路について

- ・芦屋で送迎の保障を考える
- ・芦屋で18歳以降の進路の幅が広がるための資源を考える
- ・ステージの変わる際の課題に対応する支援者がお互いの支援を知る機会

